

大学入学時の最大の不安が
学費の支払いと就職。
大学卒業と同時に何百万円もの借金。
こんな社会はおかしい。
当たり前なことが、
今の政治によって切り崩されている。

誰もが安心して学び、
ふつうに働き ふつうに暮らす。
当たり前な社会を取り戻したい。

大河原としかか



PROFILE

1976年9月11日、山形県川西町生まれ(39歳)。京都大学法学部卒。自由法曹団京都支部事務局長、京都弁護士会副会長などを歴任。現在、自由法曹団常任幹事、京都憲法会議事務局次長。

大河原としかか

弁護士・参議院京都選挙区
予定候補(日本共産党)

#ふつうに働きふつうに暮らす  



発行：日本共産党京都委員会
2016年4月
TEL：075-211-5371

日本共産党京都委員会は次の見解を発表しました。

VISION

- 1 働く人が人間らしく生きられる社会の実現を目指します
- 2 大企業の利益最優先の政治を根本から転換します
- 3 あらゆる人が尊厳を持って生きられる社会の実現を目指します
- 4 戦争法(安保法制)を廃止し、立憲主義を回復します

詳しくはホームページを
ご覧ください。 <http://kyoto-justice.jp/>

You Can Change! If You Want It.



弁護士
大河原としかか
学生生活を変える4つの提案

日本共産党

高すぎる学費を半減!

国立大学の運営交付金や私学助成の拡大などによって段階的に学費を引き下げ、10年間で半減させることを目指します。

日本の大学の学費は世界的に見ても高水準。給付制奨学金もなく、教育の機会均等が侵されています。日本国憲法「すべての国民は…その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する」(第26条)や、国際人権規約「高等教育への漸進的無償化導入」に日本も批准したことからいって、当たり前前の政治の責任です。

月3万円の給付制奨学金を創設!

月額3万円(年間36万円)の給付制奨学金を70万人(現行の奨学金受給者の半分、学生総数の4分の1)の学生に支給する制度を創設します。

「卒業と同時に借金が500万円」——学生の2人に1人が利用する奨学金。今その多くが利子付で実質上の「学生ローン」に。人生の門出に莫大な借金を背負わされることが社会的な問題となっています。

対象は経済的な必要性を基準にします。アメリカの連邦ベル奨学金(給付制)は平均年間30万円程度。奨学生数は学生総数の3割です。

ブラックバイトを規制!

悪質な企業名の公表、相談窓口の抜本的拡充など対策を強化します。

学費や生活、就職活動のための学生アルバイトが増え、「授業やテストがあっても休めない」「売れ残りの商品を買わされた」「辞めさせてもらえない」などの「ブラックバイト」がまんえんしています。日本共産党が2013年に提案した「ブラック企業規制法案」を実現します。

最賃は1500円!

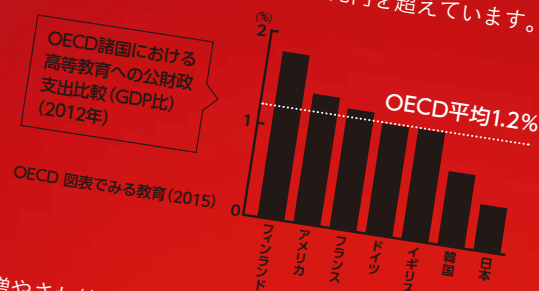
最賃をただちに時給1000円以上。1500円まで引き上げることを目指します。

最低賃金の引き上げは、格差の拡大に歯止めをかけるとともに、最も効果的な景気対策となります。時給1000円では年間1800時間の労働時間で年収180万円。1500円でも年収270万円にすぎません。最低限の生活を保障するという点から見れば最賃の大幅引き上げは当たり前です。

You Can
Change!
If You
Want It.

日本の課題と解決策

日本の高等教育への公的支出は先進国で最低クラス(グラフ参照)。一方で、富裕層や大企業のもうけを最優先する政治がすすめられてきました。法人税率は次々と引き下げられ、さらに大企業しか利用できない様々な優遇税制によって、実質負担税率はわずか14%(中小企業は25%)!大企業のため込み金(内部留保)は年々膨れ上がり、300兆円を超えています。



増やされ続けてきた軍事費が、2016年度には5兆円を突破。米製の新型兵器を次々導入し、垂直離着陸機オスプレイ(1機100億円)関連の購入費用だけで今後3600億円も使う計画です。さらに、在日米軍の駐留経費の日本側負担(思いやり予算)に年間1900億円(5年間で9465億円の負担を米側と約束)。学生に多額の借金を背負わせながら、これほどの税金を投入する必要があるのでしょうか?

オスプレイ購入
3600億円

米軍への思いやり予算
9465億円(5年間)

政治の姿勢、税金の使い方を 変えればできる!

毎年1100億円
ずつの予算増額

学費半減

年間2500億円の
予算

月3万円の奨学金
(70万人分)